

令和5年度 府中町立府中北小学校 学校評価自己評価表【当初】

<p>学校教育目標</p>	<p>自ら育つ</p>	<p>経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>[ミッション] ○確かな学力と社会性を身に付け、自ら伸びようとする人間力を育成する。 [ビジョン] ○子どもが心豊かに育つ学校 ・互いの良さを認め合い、共に育つ子 ・見通しを持ち、自ら意欲をもって学ぶ子 ・夢や目標を持ち、粘り強く挑戦する子 ○教職員がいきいきと仕事に打ち込む学校 ○家庭・地域から信頼され、総ぐるみで育てる学校</p>
---------------	-------------	----------------------------	---

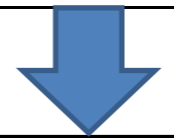
<p>ビジョン(中間経営目標)実現に向けての現状(進捗状況)と今年度の位置付け</p>	<p>昨年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため当初の計画通りの教育活動が行えなかったが、中学校共通主題「主体的・対話的で深い学びの創造」の元、ソーシャルスキルトレーニングにおいて社会性を育む8つのアイテムを習得し、ピアサポート活動を実践することを通して、児童の自己肯定感と自己有用感を高めていくとともに、算数科や生活科、総合的な学習の時間を中心にパフォーマンス課題・評価の取組やノートづくり、ペアワーク・グループワークを取り入れた単元展開により、「主体的・協働的に学ぶ児童の育成」を目指して取り組んだ。今年度は、中学校区研究主題「主体的・対話的で深い学びの創造」、本校研究主題を「わかる喜び・できる喜び・関わる喜びの実現をめざして～主体的に考え、表現し、深め合う算数科の授業改善～、～探究的・協働的に学ぶ児童が育つ総合・生活科の在り方～」とし、児童が主体的に活動する場面をパフォーマンス課題として設定し、探究的な学びにつながるよう総合的な学習の時間・生活科を中心に取り組むとともに算数科においては、児童の学ぶ喜びを高め確かな学力を定着させるための研究に取り組む。また、地域・保護者から途切れることなく得られている具体的な支援を生かして、校内環境整備等も進めていく。</p>
---	---

評価計画(中期経営目標を設定して3年目)

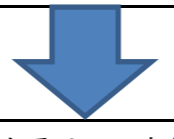
中間(3年間)経営目標	短期(今年度)経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	評価結果			
					10月		2月	
					達成値	評価	達成値	評価
a 確かな学力 ○課題発見・解決型学習の授業を推進する。 ○基礎学力を定着・向上させる。 ○学習習慣を定着させる。	1 たゆまぬ授業改善(学ぶ意欲を高め、わかる授業の創造)を基盤とした基礎学力及び活用力の向上	・個別最適な学びの学習方法の工夫を行う。 ・教師の授業力改善を図る。	・算数科単元末テストにおいて総得点到達率が80%を超える児童の割合を70%以上 ・標準学力調査において全学年全国平均以上 ・一人1授業提案 ・授業満足度児童アンケートにおいて肯定的評価が90%以上	80%以上				
	2 家庭学習の充実	・各学年の「家庭学習の手引き」を配付する。 ・毎日の家庭学習の時間を記入、月毎に集計する。 ・自主勉強ノートを行う学習内容を各学年明確にする。	・ぐんぐんカードによる家庭学習の各学年の目標学習時間の達成率	70%以上				
b 豊かな心 ○自他を大切にすることを育てる。 ○規範意識を定着させる。	1 生徒指導の充実・人権意識の醸成(「自分も相手も大切にする豊かな心」の育成、あいさつ)	・積極的な生徒指導の推進、全教職員による一貫した指導体制(誰でも、いつでも、どこでも同じ指導をする) ・特別活動でS・S・Tを行い、ピア活動等で実践する。 ・挨拶に係る生活目標を毎学期設定し、ピア活動等で取り組む(あいさつ道の取組)。	・自分から進んで挨拶をする児童の割合(学校生活アンケート)	肯定的評価 90%以上				
	2 小中連携(生徒指導担当者会を中心として)の充実	・探究的な学習の在り方に関する研究の推進と学習規律に関する指導の徹底と系統表の見直し。 ・中学校区各校の実態を把握し、特に児童の中学校進学時の連携をスムーズに行う。	・各学期の基本的な学習習慣や学習規律に係る目標の達成率(名札の着用、授業前準備)	肯定的評価 90%以上				
c 健やかな体 ○児童の体力づくりを推進する。 ○基本的な生活習慣を確立する。	1 体力・運動能力の向上(体力づくりの推進)	・推進計画に基づいた指導の共有化を図る。 ・握力、ボール投げの運動を取り入れた授業の実施。 ・授業での体育教具の効果的活用。 ・ハンドグリップを設置するなど、休み時間にも運動ができるような環境整備。 ・体育朝会(ビデオ朝会)で外遊びを紹介し、体力づくりに対する意欲の向上を図る。	・各学年平均得点(C判定)を上回ることの達成率	80%以上				
	2 基本的な生活習慣の確立	・定期的に生活リズムカレンダー一週間(早ね・早起き・朝ごはん)を実施する。 ・生活習慣への関心を高める発信をする。 児童に対する手立て…学活、食育指導(栄養士と連携)保健指導 保護者に対する手立て…学級懇談会、学年通信、ほけんだより等	・生活リズムカレンダー一週間の達成率(3項目×7日) ・基本的な生活習慣の定着率(児童アンケート)	14項目以上				
d 信頼される学校 ○学校の取組や情報を積極的に発信する。 ○地域・保護者に呼びかけ、支援を得ることで、総ぐるみで児童を育てる環境をつくる。	1 学校力・チーム力の向上(「愛」のある教育活動)	・分掌部会や企画会議等で、学校教育目標の具現化に向けた取組の立案や実施に向けて主体的に参画する。 ・働き方改革や週時程の見直しにより、児童と向き合う時間を確保する。	・学校経営目標の達成に向けた取組の立案にすべての教職員が参画していると思う教職員の割合(教職員アンケート) ・児童・生徒と向き合う時間が確保できていると思う教員の割合(教職員アンケート)	80%以上				
	2 コミュニティスクールの充実	・サポートする側のやりがい、参画・貢献意識の高まり、サポートされる側の学習の深化・効率化等によるメリットという互恵関係の確立(各学年で地域のゲストティーチャーを招いた授業やオンラインによる授業を行う。)(生、総、国、音)	・ゲストティーチャー来校者(オンライン学習を含む)延べ人数	各学年 15人以上				



結果の分析・解釈			



改善方策案			
学校の大きな方向性に照らして			



学校関係者評価を受けての来年度の重点・方針			

【評価規準】A: 目標達成(95%~100%) B: おおむね達成(80%~94%) C: もう少し(60%~79%) D: できていない(59%以下)